

学 校 教 育 目 標	大志を抱け ひとみ 輝く 八中生 ～賢く 豊かに 逞しく～
目 指 す 学 校 像	1 生徒・教職員ともに安全・健康・人権を尊び、自己存在感や充実感が味わえる学校 2 美化・清掃活動を通して、美しさの中で豊かな学びのできる学校 3 共に過ごす生徒と教職員が、共に自信と誇り、安心の元に活動できる学校 4 豊かな連携を通して、保護者・地域から信頼され、愛される学校
重 点 目 標	1 自立した学習者の育成に向け、ICTや個別活動を効果的に活用した生徒個々の学びを高める授業を実践する。 2 生命と人権尊重を重視し、自主的・主体的・協働的な活動を通して、生徒が自信をもち、自己肯定感を高める。 3 生徒自ら地域と連携し、地域社会に貢献する意識を高める。 4 生徒の安心・安全を確保した施設・設備を充実する。 5 教職員の働きやすさ・働きがいに対する意識を向上させ、健康を維持する。

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【現状】 ○全国学力・学習状況調査では、国語は前年度と比較し、市平均との差が2ポイント開いた。 ○生徒学校評価「授業に真剣に取り組んでいる」の肯定的評価は97.8%である。 ○教職員学校評価「生徒の実態に合わせて授業改善ができている」の肯定的評価は96.5%だが、A評価は17.2%である。 【課題】 ○下位層の基礎学力の定着に向けた指導方法を工夫改善する必要がある。 ○基礎学力を土台とした表現力の育成が必要である。	・ICTの活用を含め、個々に対応した授業の推進 ・探究的・協働的な学びを実践するための指導方法の工夫改善	①スクールダッシュボード等を活用し、生徒個々の意欲度・理解度を把握して個々に対応した授業を実施する。 ②基礎・基本の定着のため、授業内や宿題等において、スタディサプリ等を広く活用する。 ①授業内において探究的・協働的な活動を増やすとともに、自分の意見を表現できる場面も多く設定する。 ②授業内外において、生徒が自ら考え、「できた」「わかった」を大切にし、対話を重視した活動を実践する。	①スクールダッシュボード授業アンケートやスタディサプリを活用したか。 ②教職員評価「基礎基本の定着を図る指導」が昨年度よりも上回ったか。 ③生徒評価「予習や復習の取組」が昨年度よりも上回ったか。 ①教職員評価「生徒の実態に合わせた授業・指導法の改善」ができたか。 ②学校図書館の利用が昨年度よりも上回ったか。 ③生徒評価「授業がわかりやすい」が昨年度よりも上回ったか。					
2	【現状】 ○生徒学校評価より、自分に自信が持てず、対人関係に不安を抱える生徒が多い。 ○生徒学校評価「先生は親身に相談に応じる」の肯定的評価は94.8%である。 【課題】 ○心に不安を抱える生徒に対して自己肯定感を高めるための活動を継続実施する必要がある。 ○生徒指導・教育相談においてさらに組織的に対応する必要がある。	・生徒の自信を身につけるための教育活動の工夫 ・生徒1人ひとりきめ細やかに対応する組織の充実	①基本的生活習慣を身につけるため、心を潤す4つの言葉の指導やトラブル防止の活動を継続的に実施する。 ②生徒会活動やボランティア活動等の自主的な活動をさらに多く設定する。 ①生徒に目を常に向けるとともに、報告・連絡・相談・見届けを丁寧に組織的に、迅速に実施する。 ②普段から声掛け等を実施し、未然防止のための積極的指導を実施する。	①生徒評価「学校生活目標を意識して生活しているか」が昨年度よりも上回ったか。 ②生徒が発表等、主体的に活動する場面を多く設定したか。 ①教職員評価「生徒指導・教育相談の充実を実践したか」が昨年度よりも上回ったか。 ②生徒評価「心を潤す4つの言葉ができたか」が昨年度よりも上回ったか。					
3	【現状】 ○コミュニティ・スクール研究協力校となり、地域との連携について模索中である。 ○生徒学校評価「地域へのボランティア活動への参加」の肯定的評価は30.9%であり、生徒の「ボランティアに参加する意識」はあるものの、地域への参画意識は高まっていない。 【課題】 ○積極的に地域に関わり、自ら意見を発信できる生徒を育成する必要がある。	・生徒の社会貢献意識の育成に向けた地域との連携 ・学校・地域が連携するための情報の発信と共有	①生徒が社会参画できる地域行事を精選し、参加できる環境を設定する。 ②地域と生徒の風通しがよくなるためにあいさつ運動を充実させる。 ①生徒が自ら考えた意見を学校運営協議会等で発言する機会を設定する。 ②学校の活動の様子をHP等で情報提供するとともに、地域の活動を学校内掲示板を活用して情報を共有する。	①地域と連携したボランティア活動等に昨年度以上に取り組んだか。 ②生徒が普段から安全意識をもって行動している様子が見られたか。 ①学校運営協議会に生徒が参加する機会を設定したか。 ②HPの更新数及びアクセス数が昨年度以上となっているか。 ③保護者評価「学校に関する情報を伝えている」が昨年度よりも上回ったか。					
4	【現状】 ○生徒・教職員が校舎をていねいに使用しており、破損等は比較的少ないものの、校舎の老朽化は明らかに進んでいる。 ○校内緑化等においてPTAの協力が得られている。 【課題】 ○生徒が安心して活動できるよう施設・設備を定期的に点検する必要がある。 ○校内課題研究である「防災教育」に関する環境整備を進めていく必要がある。	・生徒の安心・安全を確保する施設・設備の充実 ・PTAや後援会との連携を含めた学習や生活環境の充実	①定期的な点検を実施し、大きな修繕については、学校施設管理課等へ迅速に修繕依頼を行う。 ②個人情報等物品の管理徹底のため、必要な棚を設置し、整理する。 ①地域と連携し、防災教育に関連した施設・設備・備品を再点検、整備する。 ②生徒の心の成長に沿う環境の構築について、地域・保護者の目線から意見をいただき、実施に結び付ける。	①安全点検等、修繕・改善箇所に対して迅速に対応できたか。 ②教職員評価「公用備品の管理はできたか」が昨年度よりも上回ったか。 ①防災関係で必要な施設・設備・備品を学校運営協議会等で洗い出し、整備することができたか。 ②校内緑化活動等、保護者・地域の方から改善点を得ることができたか。					
5	【現状】 ○生徒との関わりをていねいに行う教職員が多い。 ○業務にていねいに取り組んでいる反面、教職員の体調管理が心配である。 【課題】 ○業務の対応については、1人で抱え込まないように組織的に対応する必要がある。 ○若手教員の育成を含め、協力体制が充実している雰囲気の良い学校づくりを進めていく必要がある。	・教職員の専門性・指導力向上のための研修の奨励 ・教職員の健康保持増進に向けた業務改善の工夫	①教員が生徒と携われる時間を生み出し、業務の軽減に向けた研修・話し合いの場を設定する。 ②教員の個々につけさせたい力を確認し、個々にあった研修を推奨する。 ①若手教員を中心にToDoリストを活用し、業務の効率化に結び付ける。 ②個人に限らず、学年等の負担度を声掛け等により定期的に把握し、軽減できるよう指導・助言する。	①教職員評価「状況に応じて行事の精選等がされているか」が昨年度よりも上回ったか。 ②各教員が設定した研修を確実に実施・理解し業務に生かすことができたか。 ①教職員が業務効率化を意識して取り組み、時間外在校時間を減少させ、健康を維持できたか。 ②「チーム八王子」を意識し、協力体制等を向上させることができたか。					

学びの質の向上に関する取組

心の子どもの発達やサポートに関する取組

学校地域とにもある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組